



校長 藤山 昌生

あ
心
合
わ
せ
て

10月29日(金)、5年生は自然学校のプログラムとして、円山川公苑でカッター、カヌー・カヤックを体験しました。中でも、カッターはカッターボートとも呼ばれ、元々は大きな船に積まれ、人命救助や上陸のために使用される全長6mもある大きな艇です。子どもたちは、カッターの右舷と左舷に分かれ、リーダーの掛け声に合わせて、6本の大きな櫂を二人一組で、思いっきり全身を使って漕ぎました。この日の円山川は風があり、あまりいいコンディションではありませんでしたが、子どもたちは、友だちとしっかり心を合わせて、大きな艇を進める経験ができたことは、これからの自信へとつながっていくと思います。



一方、校内では、18日(木)、19日(金)に実施される音楽参観に向け、教室や体育館から各クラスの合奏の音が聞こえてきます。音楽では「ハーモニーを奏でる」という言葉がよく使われますが、ハーモニーとは調和する音の響きを意味しています。合奏では、自分の持てる力を精一杯発揮することは当然ですが、自分の音と、友だちの奏でるいろいろな音とを合わせることに力も注がなければなりません。最初からぴったり合わせることは難しいですが、日々の練習を重ねるごとに、自分の出す音とは違う友だちの出す音に気付き、感じ取れるようになります。そして、互いに友だちの音と合わせようとする気持ちが、「ハーモニーを奏でる」ことにつながっていきます。今まさに、素敵な合奏を作り上げるために、友だちと「音」と「心」を合わせようとする子どもたちの姿が見られます。

感じ取る力や心を合わせる力を培ってくれるのは、何も5年生のカッター体験や音楽に限ったことではありません。このような力は、日々の学校生活や日常生活の中で、人との出逢いや、様々なことを経験する中で培われ、「調和する力」「他者への思いやり」「見えないものへの気づき」などを学び、社会性を身につけていきます。これからも、子どもたちの成長に合わせて、いろいろな場面で、支援していきたいと思えます。

音楽参観は、感染症対策として、6部に分けクラス合奏を保護者のみなさまにご鑑賞いただくこととしています。心地のよい緊張を感じながら、友だちと一緒に素敵なハーモニーを奏でる子どもたちを、温かく応援していただきますようお願いいたします。